

持続可能な社会を実現させるための 地球環境維持に向けた身近な実践活動

生徒会執行部が企画、運営を行うボランティア活動を「西中HOTはーと大作戦」と題して、全校で取り組んでいる。特に、「ごみゼロの日」、「びわこの日」、「県下一斉清掃の日」を中心として、豊かな自然環境を守るために、まず自分たちにできることから始めるという実践を行った。また、湖東定住自立圏地産地消事業の一環として、松原農業組合の方々、彦根市役所農林水産課の方々の協力をいただき、松原農場でトウモロコシやジャガイモの栽培を行い、命のつながり、地産地消と環境問題等について体験を通して学び合った。

1 本校の概要

本校は、国宝彦根城の内堀と中堀の間に位置し、彦根藩の藩校（弘道館）跡に立地する伝統ある学校である。また、周囲を石垣や木々に囲まれ、近くの琵琶湖からの風をうけて、四季折々の表情がうかがえる豊かな自然環境に恵まれた学校でもある。本校では、この身近な自然環境をいかし、自然愛護の心と環境保全の態度を育成することを大きな目標の1つにあげ、持続発展可能な地球環境づくりに鋭意取り組んでいる。特に、ボランティア活動（西中HOTはーと大作戦）を、生徒会執行部を中心に企画、運営することで、生徒自らが環境問題について考え、判断し、行動するよう努めている。

2 本校の環境教育のねらい

- ・エコ・スクール認定校として、持続発展可能な地球環境づくりに向けて、自然愛護の心と環境保全の態度を育成する。
- ・郷土の身近な自然や文化・生活環境に触れ、学校や郷土を美しくする活動を通して、環境保全の実践的態度を育成する。
- ・ボランティア活動（西中HOTはーと大作戦）に参加し、郷土を愛し、郷土の自然環境に対する意識を高める。
- ・よりよい学校（学習）環境づくりに積極的に参加する実践的な態度を育成する。

3 実践事例

（1）農業体験

湖東定住自立圏地産地消事業の一環として、松原農業組合の方々、彦根市役所農林水産課の方々の協力をいただき、松原農場でトウモロコシやジャガイモの栽培を行い、命のつながり、地産地消と環境問題等について体験を通して学び合った。

今年で4年目となるこの実践は、1年生が年間を通して取り組めるようにしている。トウモロコシはスイートコーンとポップコーンを栽培し、雄花切りや土寄せ、草むしりなどの一連の作業を体験し、8月にスイートコーン、10月にポップコーンを収穫した。収穫したスイートコーンを利用して、家庭科の調理実習ではピザとスープを作り美味しくいただいた。

また、スイートコーンの収穫時にジャガイモの苗を植え、12月に収穫した。収穫したジャガイモは、近隣の小学校へお裾分けをしたり、市立病院で使っていただいたりした。特別支援学級の生徒は、収穫物を使っておでんを作り、お世話になった松原農業組合、彦根市農林水産課の方々を招いてお礼をした。



トウモロコシの苗植えの様子

(2) 西中H O Tは一と大作戦

生徒会執行部が企画、運営を行うボランティア活動を「西中H O Tは一と大作戦」と題して、全校で取り組んでいる。特に、「ごみゼロの日」、「びわこの日」、「県下一斉清掃の日」を中心として、豊かな自然環境を守るために、まず自分たちができることから始めるという実践を行った。

ア、「ごみゼロの日」(5月30日に関して)

5月30日の「ごみゼロの日」に合わせて校区内の城西、城北小学校と連携し、保護者や地域の方にも参加していただき、長曽根浜、松原浜の湖岸清掃を行った。1時間程度の清掃活動であったが、充実した活動になった。

○あまりのゴミの量で驚きましたが、自分たちの湖岸をきれいにしたいという思いで、ゴミの分別に力を入れてがんばりました。小学生と中学生で仲良く掃除ができたのが良かったと思います。私自身も小学生のお手本となれるようがんばりました。来年もがんばりたいです。(1年)

○毎年掃除するのに、毎年ちゃんとゴミが落ちているのが不思議です。湖岸にゴミを捨てる人は琵琶湖の大切さをわかっていないのでしょうか。自分たちの生活に欠かせない琵琶湖をきれいにしようがんばれました。小学生も袋いっぱいゴミを拾っていてすごいなと思いました。

(2年) (湖岸清掃後の生徒の感想)



小中合同湖岸清掃の様子

イ、「びわこの日」(7月1日に関して)

生徒会執行部が中心となり、清掃ボランティアを募って、校舎内の窓ふきを行った。約60名の参加があり、丁寧に活動することができた。

ウ、「県下一斉清掃の日」(12月1日に関して)

生徒会整備員会の取り組みとして、清掃ボランティアを募り校地内の落ち葉を拾い集めた。約150名の参加があり、短い時間であったが、黙々と落ち葉を集めた。

エ、「緑のカーテン」の設置

コンピュータ・ボランティア部による教室南面、校長室、職員室の南面にゴーヤの苗植えと育成を実施した。この活動は、今年度だけでなく、4年間続けて行っている。また、今年度は福島県の中学校からヒマワリの種をいただきゴーヤの苗とともに、花壇に植えた。



ゴーヤの緑のカーテンとヒマワリ

オ、その他の西中H O Tは一と大作戦

ペットボトルキャップの回収を呼びかけたり、節電や節水を呼びかけるシールを作製し、トイレや手洗い場に掲示した。また、彦根花火大会の翌日の早朝には部活動所属生徒全員で会場周辺の清掃活動を行ったりと生徒会執行部を中心とした自主的な取り組みを行うことができた。

4 成果と課題

今年度は、持続発展可能な地球環境づくりに向けて生徒会執行部を中心に活動することで、全校生徒が環境について自分の問題として考えることができた。また、多くの生徒が湖岸清掃や校内清掃など、様々なボランティア活動に積極的に取り組むことができたが、このようなボランティア活動に一生懸命に取り組む一方で、毎日の清掃活動に真面目に取り組めない生徒もおり、今後の課題である。

今年度も、滋賀県エコ・スクールに登録をし、年間を通して計画的に活動することができたが、今後は他のエコ・スクール認定校などとの交流を図りながら、さらに発展した取り組みとなるよう努力したい。

学校名	彦根市立西中学校
住所	彦根市金亀町8-1
電話番号	0749-22-4808
E-mail	nishi@mx.hikone.ed.jp